



本日、1学期の終業式を行いました。校長の話の中では、始業式や入学式でお話した、①自分なりの方法で積極的に挨拶をすること、②目標を決めて頑張ること、③自分でやれることは自分でやることについて、この1学期間を振り返り、一人ひとりが頑張った様子をお知らせしました。

明日から42日間の夏休みが始まります。今年の夏も暑い日が続く予想ですが、皆さんには、規則正しい生活をして、体調管理に気をつけて、元気に過ごしてほしいと思います。

さて、この1学期間もこれまでに引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら教育活動を行ってまいりました。そうした中、5月8日には、同感染症が5類感染症に移行しました。昨年度から校外行事及び宿泊行事を再開しましたが、この7月からは3年間実施していなかった水泳指導を開始することができました。児童生徒の皆さんのプールでの楽しそうな笑顔を見ることができ、本当に嬉しく思っています。

引き続き、児童生徒の皆さんの感染症の予防と教育活動の充実の両立に取り組んでまいりますので、皆様のご支援をお願いいたします。

## 教職員の専門性を向上するための研修を実施しています

これまでもお知らせしておりますが、年間を通して、教職員を対象に肢体不自由教育及び知的障害教育等の専門性を向上するための研修を実施しています。

4・5月には理学療法士(P T)による介助方法・ポジショニング・動作姿勢のアセスメント等に関する研修を、5・7月には言語聴覚士(S T)によることばの発達・コミュニケーション等に関する研修を実施しました。夏季休業中にも、ベテラン教員等が得意な分野について研修を行う予定になっています。

専門性向上のための研修を実施することで、日々の教育活動が充実していくよう取り組むとともに、児童生徒の皆さんが、安全で、安心して学校生活を送ることができるようにしてまいります。

## 共生社会推進に向けた取組を進めています

この7月26日で、県立津久井やまゆり園で、19人が死亡し27人が負傷するという、大変痛ましい事件があったから7年になります。このような事件が二度と起こらないよう、すべての人が、いのちを大切に、その人らしく生活し、偏見や差別をしない、共に生きる社会を作っていくことが大切です。

茅ヶ崎支援学校も、こうした共生社会の実現に向け、その一翼を担っていく必要があると考えています。今年度から新たに、校内組織に共生社会推進チームを新設し、共生社会推進担当1名を専任で配置しました。本校の児童生徒一人ひとりが、様々な人たちと共に支え合い、力を発揮できる地域社会づくりを進め、ひいては共生社会の実現につなげていきたいと考えています。

すでに本校や本校の児童生徒を地域に知ってもらうための活動として、本校の周知活動、近隣との協働事業、茅ヶ崎市の特色をいかした事業、文化事業、研修活動等に取り組んでいます。また先日は県庁に出向き、「共生推進本部室」に本校の取組を報告しました。今後、同本部室との連携を深め、情報発信も進めていきます。



ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

(校長)